



文部科学省認定
職業実践力育成プログラム

2021 年度

緩和ケアを推進する看護師養成
(文部科学省認定：職業実践力プログラム)

受講生募集要項

- A. 緩和ケア実践看護師養成コース
- B. 在宅緩和ケア推進看護師養成コース
- C. 緩和ケアチームリーダー看護師養成コース



京都府公立大学法人
京都府立医科大学
看護実践キャリア開発センター



はじめに

緩和ケアは、がん患者とその家族が可能な限り質の高い生活を送れるよう、診断、治療、療養のあらゆる過程において提供する必要があります。がんと診断された時から患者とその家族が、全人的な緩和ケアを受けられるよう、緩和ケアの提供体制の充実が求められています。しかし、緩和ケアに関する教育は、十分に確立されておらず、また、がんと診断されたときからの緩和ケアは、十分とはいえない状況です。

『京都府がん対策推進計画』（平成 25 年 3 月）の施策には、がん医療体制の整備・充実として、緩和ケアの推進、在宅医療の充実等が掲げられています。がん医療に携わる看護師の教育や緩和ケアチームなどの機能強化等により、緩和ケアの提供体制をより充実させ、がんと診断された時から患者とその家族が、早期から緩和ケアを受けられるよう調整することが求められています。また、がん患者が住み慣れた家庭や地域での療養や生活が選択できるよう、在宅緩和ケアを含めた在宅医療・看護を提供していくための体制の充実を図る必要性があります。

そこで、京都府立医科大学看護実践キャリア開発センターでは、緩和ケアへの理解を高め、実践能力を強化することをねらいに 3 つのコースを開講しています。

緩和ケア実践看護師養成（A コース）

在宅緩和ケア推進看護師養成（B コース）

緩和ケアチームリーダー看護師養成（C コース）

また、全てのコースは、「職業実践力育成プログラム」（BP）として、文部科学省に認定を受けています。A コース、B コースは教育訓練給付金制度（専門実践教育訓練）の厚生労働大臣指定教育訓練の対象講座です。

目次

I. 「緩和ケアを推進する看護師養成」プログラムの概要	
1. 目的	1
2. ねらい	1
3. 期待される能力	1
4. 教育目標	2
5. 教育内容・特徴	2
II. 募集要項	
1. 受講期間	4
2. 募集コース	4
3. 対象・受講要件・募集定員	4
4. 出願手続	5
5. 出願書類の取り寄せ方法	5
6. 出願に関する留意事項	6
III. 受講可否の決定について	
1. 受講可否の決定について	6
IV. 受講手続	
1. 受講手続	6
2. 受講料	7
3. その他	7

I. 「緩和ケアを推進する看護師養成」プログラムの概要

1. 目的

がんと診断された時から、患者の療養場所に関わらず、質の高い緩和ケアが実践できかつ緩和ケアの教育を行う看護師を育成し、がん治療における緩和ケアの充実、終末期医療における緩和ケアの充実を行うことにより、各地域で暮らすがん患者・家族の QOL(Quality of Life)・QOD(Quality of Death)の向上を図ります。

2. ねらい

A. 「緩和ケア実践看護師養成」コース、B. 「在宅緩和ケア推進看護師養成」コースは、がんと診断された時から、質の高い緩和ケアを提供できるように、がんの診断を受け心理的にも身体的にも苦痛を持っている可能性が高い人に対する基本的な緩和ケアを担い実践する、心身の苦痛をもつ患者の個別のニーズを把握し、専門的緩和ケアへとつないでいくことのできる人材の育成を目標としています。基本的緩和ケアを担う看護師に求められる役割を理解し、患者の意思決定の支援・苦痛緩和・専門家への橋渡し・連携を中心に実践能力を向上させます。

C. 「緩和ケアチームリーダー看護師養成」コースは、チームビルディング能力・リーダーシップ能力の向上を図り、質の高い緩和ケアの推進を行うことができる人材の育成を目標としています。

3. 期待される能力

A. 「緩和ケア実践看護師養成」コース、B. 「在宅緩和ケア推進看護師養成」コース

- 1) がん患者の特徴的な意思決定場面および意思決定に関わる要因を理解し、がん患者・家族の意思決定を支援するとともに意思決定を尊重した看護が実践できる。
- 2) がん患者の全人的苦痛・包括的アセスメントの考え方を理解し、症状マネジメントの実践ができる。
- 3) 緩和ケアの専門家への橋渡し・連携のためのネットワーク構築の必要性を理解し、他職種と協働し、チームの一員として役割を果たすことができる。
- 4) 豊かな倫理的感性をもち、緩和ケアの実践を通して役割モデルを示し、看護職者への指導・相談ができる。

C. 「緩和ケアチームリーダー看護師養成」コース

- 1) 緩和ケアチームの要としてのリーダーシップを発揮し、多職種の役割を理解し連携・協働できる。
- 2) 病棟看護師からの相談に対して、患者・家族への緩和ケア全般についてのアドバイスができる。
- 3) 在宅を含めた地域での療養に関する調整ができる。
- 4) 自施設における緩和ケアチームを活性化するための指導的役割が発揮できる。

4. 教育目標

A. 「緩和ケア実践看護師養成」コース、B. 「在宅緩和ケア推進看護師養成」コース

- 1) がん治療に伴う副作用・合併症、苦痛に対する適切なアセスメントと症状コントロールを理解する。
- 2) がん告知や治療経過で体験する患者・家族の心理を理解する。
- 3) 緩和医療・終末期医療におけるケアの実践の理論を学び、実践する。
- 4) 医療における倫理的課題について学び、倫理的態度をもって援助する。
- 5) 緩和ケア病棟・外来化学療法センターでのケアの実際を理解し、必要な技術を学び実践する。
- 6) 在宅における緩和ケア・終末期のケアの実際を理解し、必要な技術を学び実践する。
- 7) 緩和ケアチームの活動の実際を理解し、緩和ケアにおけるチーム医療について学ぶ。
- 8) 自施設の緩和ケアに関する課題の改善に向けた取り組みを行い、その取り組みをまとめ他者と共有する。

C. 「緩和ケアチームリーダー看護師養成」コース

- 1) 医療チームの連携・協働を円滑にすすめるために、組織マネジメント・チームマネジメント、およびリーダーシップについて理解する。
- 2) 個人の実践能力を高めるだけでなく、集団の実践能力の向上に対してリーダーシップを発揮する力を養う。
- 3) 在宅における緩和ケア・終末期ケアの実際を理解し、施設、地域間の連携を学ぶ。
- 4) 自施設の緩和ケアに関する課題の改善に向けた取り組みを行い、その取り組みをまとめ他者と共有する。

5. 教育内容・特徴

- 1) 研修の日程は、開講式でご案内いたします。
- 2) このプログラムは、職場に勤務しながら学ぶことができます。講義の多くは、18時からの開始となっており、さらに講義の一部は、受講者の勤務に応じた調整を行います。
- 3) A、BコースでELNEC-J コアカリキュラムが未修了の場合、臨地実習開始までにELNEC-J コアカリキュラムを受講していただきます（調整はセンターが行います）。
- 4) 受講期間中は、本学の研修員として附属図書館が利用できます。
- 5) 修了者には京都府立医科大学学長より修了証を交付します。

6) コース別取得単位数

緩和ケア実践看護師養成

区分		必須	選択	合計
		単位数	単位数	単位数
講義	看護管理・倫理	1	—	1
	緩和ケア看護論	2	—	2
	がん看護論	2	—	2
	腫瘍病態生理学各論	—	2	2
	臨床薬理作用論	—	2	2
	計	5	4	9
演習	緩和ケア演習	1	—	1
臨地 実習	緩和ケア病棟実習 (A コース)	1	—	1
	緩和ケア実習 A	1	—	1
	計	2	—	2
合計		8	4	12

在宅緩和ケア推進看護師養成

区分		必須	選択	合計
		単位数	単位数	単位数
講義	看護管理・倫理	1	—	1
	緩和ケア看護論	2	—	2
	がん看護論	2	—	2
	腫瘍病態生理学各論	—	2	2
	臨床薬理作用論	—	2	2
	計	5	4	9
演習	緩和ケア演習	1	—	1
臨地 実習	在宅緩和ケア実習 (B コース)	1	—	1
	緩和ケア実習 B	1	—	1
	計	2	—	2
合計		8	4	12

緩和ケアチームリーダー看護師養成

区分		必須	選択	合計
		単位数	単位数	単位数
講義	組織マネジメント	1	—	1
	緩和ケアチームリーダーシップ	1	—	1
	看護管理・倫理	1	—	1
	緩和ケア看護論	—	2	2
	がん看護論特別講義	—	1	1
	腫瘍病態生理学各論	—	2	2
	臨床薬理作用論	—	2	2
	計	3	7	10
演習	緩和ケアチームリーダーシップ演習	2	—	2
臨地 実習	緩和ケアチームリーダー実習	1	—	1
	在宅緩和ケア実習 C	1	—	1
	計	2	—	2
合計		7	7	14

II. 募集要項

1. 受講期間

2021年4月から2022年3月下旬までの1年間

2. 募集コース

- 1) 緩和ケア実践看護師養成 (A コース)
- 2) 在宅緩和ケア推進看護師養成 (B コース)
- 3) 緩和ケアチームリーダー看護師養成 (C コース)

3. 対象・受講要件・募集定員

- 1) 実務経験は、看護師免許取得後の看護実務経験を開始した年月日を1ヶ月目とし、2021年3月末の時点で、看護実務経験が要件を満たしていることを要件とします。
- 2) 所属の看護管理者からの推薦書が必要です。
- 3) 自己研鑽が目的ではなく、自施設ひいては地域へ貢献していただける方を募集します。
- 4) コース別の対象者などは、次の通りです。

緩和ケア実践看護師養成

対象	受講要件	募集定員
病院勤務の看護師	① 看護師免許取得後、がん看護に関して実務経験3年以上の看護師 ② 所属の看護管理者から推薦を受け、受講の保障が得られる看護師 ③ 受講期間中、所属の組織の目標に沿った緩和ケアに関する課題を 実践できる看護師	5人

在宅緩和ケア推進看護師養成

対象	受講要件	募集定員
訪問看護ステーション勤務の看護師	① 看護師免許取得後、がん看護に関して実務経験 3 年以上の看護師 ② 所属の看護管理者から推薦を受け、受講の保障が得られる看護師 ③ 受講期間中、所属の組織の目標に沿った緩和ケアに関する課題を実践できる看護師	3 人

緩和ケアチームリーダー看護師養成

対象	受講要件	募集定員
組織の中で緩和ケアチームのリーダーとしての役割が期待されている看護師	① 看護師免許取得後、がん看護に関して実務経験 5 年以上の看護師 ② 所属の看護管理者から推薦を受け、受講の保障が得られる看護師 ③ ELNEC-J コアカリキュラムの受講を修了している看護師 ④ 受講期間中、所属の組織の目標に沿った緩和ケアに関する課題を実践できる看護師	2 人

4. 出願手続

1) 出願書類

- (1) 受講願書（様式 1） p.8
- (2) 履歴書（様式 2） p.9
- (3) 勤務証明書・推薦書（様式 3） p.10
- (4) 小論文（志願理由）（様式 4） p.11
- (5) ELNEC-J コアカリキュラムの受講を修了されている方は、必ず修了証のコピーを提出してください。
- (6) その他、資格取得・研修修了されているものがあれば履歴書への付記をお願いします。

2) 出願書類提出方法

- (1) 上記 1) の書類を郵送または直接持参により提出してください。
- (2) 郵送の場合は、郵送期間を十分考慮のうえ、簡易書留で郵送してください。
- (3) 持参の場合は、土日及び祝日を除く日の午前 9 時から午後 4 時までにご持参ください。

【あて先】 〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路の梶井町 465 番地
京都府立医科大学 看護実践キャリア開発センター 宛

3) 出願期間

2020 年 10 月 1 日（木）～2020 年 11 月 27 日（金）消印有効

※出願期間を延長する場合があります。ホームページをご確認ください。

5. 出願書類の取り寄せ方法

1) 郵送で請求される場合

募集要項及び出願書類を在中するための返信用封筒（角形 2 号もしくは角形 A 4 号封筒に 140 円切手貼付、住所氏名明記）を、看護実践キャリア開発センター宛に郵送してください。

2) 京都府立医科大学看護実践キャリア開発センターホームページからダウンロードされる場合

ホームページアドレス <http://www.kpu-m.ac.jp/j/cdcn/>

掲載期間 2020 年 10 月 1 日（木）～

6. 出願に関する留意事項

- 1) 出願書類は必ず所定の様式を使用してください。
- 2) 出願書類一式のご返却は致しかねますのでご了承ください。
- 3) 出願時に受講料納付方法（一括・分割）を選択してください。

Ⅲ. 受講可否の決定について

- 1) 書類審査により、受講の可否を決定いたします。
- 2) 受講要件を満たしていない、あるいは出願書類に記載不備がある場合は、不合格とします。
- 3) 必要時、面談をさせていただく場合があります。その際は、『受講願書』の電話もしくはメールアドレスに連絡させていただきます。
- 4) 受講可否の通知について

2021年1月18日（月）

受講を申込みされた本人様宛に郵送（簡易書留）で通知します。電話や FAX によるお問い合わせには対応できません。

Ⅳ. 受講手続き

1. 受講手続

- 1) 受講可の場合には、結果通知書と同封する次の（1）と（2）の他に（3）～（5）の書類等が必要となります。なお、書類提出期間内に手続きが完了しない場合には、本課程の受講を辞退したものと取り扱います。

- （1）研修員採用内申書
- （2）図書館利用申請書
- （3）カラー写真1枚

（正面上半身無帽、背景なし、出願6ヶ月以内に撮影したもの縦3.0cm×横2.0cm）

- （4）最終学校の卒業証明書（「卒業証書の写しは不可」）
- （5）看護師免許証の写し

2) 書類提出方法

- （1）上記1）の書類を郵送または直接持参により提出してください。
- （2）郵送の場合は、郵送期間を十分考慮のうえ、簡易書留で郵送してください。
- （3）持参の場合は、土日及び祝日を除く日の午前9時から午後4時までにご持参ください。

【あて先】

〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路の梶井町 465 番地
京都府立医科大学 看護実践キャリア開発センター 宛

3) 書類提出期間

2021年2月1日（月）～2021年2月26日（金）まで（**必着**）

2. 受講料

- 1) 受講手続きの際には、次の金額を納付する必要があります。受講の可否の通知を郵送の際、同封する納付書により、下記の金額を金融機関の窓口で納付してください。振込手数料はご本人さま負担です。
- 2) 受講料は60,000円です。受講料は、一括納付と分割納付での納付方法が出願時に選択いただけます。一括納付の場合は、2021年3月1日（月）～2021年3月31日（水）の期間内に納付してください。分割納付の場合は、前期受講料20,000円を上記の期間内に納付してください。後期受講料は、40,000円です。納付期間は2021年9月1日（水）～9月30日（木）です。
- 3) 一旦納付していただきました受講料の返金は、致しかねますのでご了承ください。

3. その他

- 1) 受講期間中には、書籍や交通費（通学）等の経費が必要になります。
- 2) 損害・傷害保険等の加入が必須です。ただし、当プログラム受講中も自組織の損害・傷害保険等が有効な場合は例外とします。
- 3) **Aコース/Bコースは、専門実践教育訓練給付制度 厚生労働大臣指定講座**です。

この制度は働く人の主体的で、中長期的なキャリア形成を支援し、雇用の安定と再就職の促進を図ることを目的とする雇用保険の給付制度です（企業の費用負担がない場合）。

一定の条件を満たす雇用保険の被保険者が、厚生労働大臣の指定する専門実践教育訓練を受講し修了した場合、本人が教育訓練施設に支払った教育訓練経費の一定の割合額をハローワークから支給する制度です（専門実践教育訓練給付金についてのリーフレットより）。

なお、制度等の詳細につきましては、ハローワークや厚生労働省のHPを必ずご確認ください。受講開始前の1ヶ月前（2月末）までにハローワークへ書類の提出が必要です（支給申請は別途手続きが必要）。

事業主の皆様へ

人材開発支援助成金（旧称：キャリア形成促進助成金）の支給については、様々な受給要件がありますので、詳しくは厚生労働省のホームページ等をご確認ください。

- 4) 状況により、休講の可能性もございます。詳細は、看護実践キャリア開発センターへお問合せください。

(様式1)

受講願書

年 月 日

京都府立医科大学 学長 殿

「緩和ケアを推進する看護師養成」プログラムの受講を願いたいので関係書類を添えて申し込みます。

ふりがな			
氏名			
現住所		〒 _____ TEL : () 携帯電話 : () Mailアドレス PC : _____ Mailアドレス 携帯 : _____	
施設名	ふりがな		
	名称		
	所在地	〒 _____ TEL ()	
	職種	職位	
志願コース ※志願するコースの欄に✓を付記してください。	<input type="checkbox"/> 緩和ケア実践看護師養成 (Aコース) <input type="checkbox"/> 在宅緩和ケア推進看護師養成 (Bコース) <input type="checkbox"/> 緩和ケアチームリーダー看護師養成 (Cコース)		
納付方法 ※納付方法を選んでください	受講料納付方法 (<input type="checkbox"/> 一括納付 , <input type="checkbox"/> 分割納付)		

(様式 2)

写真貼付欄

縦 4cm×横 3cm
正面上半身無帽、背
景無し、応募前 6
ヶ月内に撮影した
もの。写真の裏に氏
名を記入して貼る
こと。

履 歴 書

年 月 日

ふりがな		男・女
氏名 (自署)		印
生年月日	西暦 年 月 日生 (満 歳)	

現住所	〒 ー	TEL/FAX
		TEL () FAX ()
所属施設名 病床数	病床数 ()	TEL/FAX
		TEL () FAX ()
所属施設住所	〒 ー	
免許取得年月日	(看護師) 西暦 年 月 日 号	
	() 西暦 年 月 日 号	
	() 西暦 年 月 日 号	
(西暦)	学歴 (高等学校卒業から記入) 及び職歴	
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
(西暦)	資格取得・修了研修 等	
年 月		
年 月		

(様式 3)

勤務証明書・推薦書

年 月 日

氏名： _____

上記の者は当施設において、以下のとおり勤務していることを証明します。

在職期間

西暦 年 月より 西暦 年 月まで、
通算 年 ヶ月間勤務している。

ただし、休職期間（産休・育休など）通算 年 ヶ月を含まない。

勤務形態は、[常勤 ・ 非常勤]である。

また、上記の者は、「緩和ケアを推進する看護師養成」プログラムを受講する要件を十分に満たしていると評価しますので、ここに推薦します。

【推薦理由】

施設名

職位

氏名

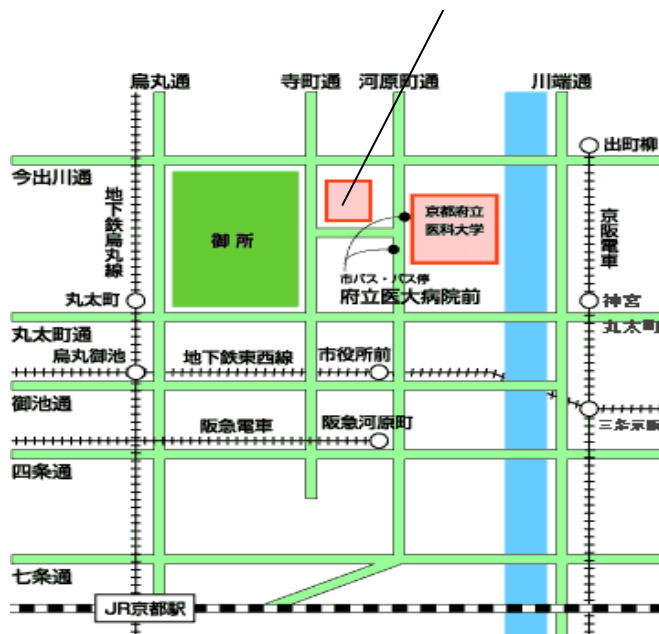
印

施設所在地 〒 _____

電話番号

※看護部長等の職位の方がご記入ください。

看護実践キャリア開発センター



～資料請求先～

京都府立医科大学 看護実践キャリア開発センター

〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路の梶井町 465 番地

TEL・FAX : 075-212-5422

e-mail : careinfo@koto.kpu-m.ac.jp

HP : <http://www.kpu-m.ac.jp/j/cdcn/>

